

# かわにし

議会だより

第144号

2021

1.15



川西町議会H.P  
QRコード

## 豊穰のうし年 置賜農業高校

P19に関連記事

かわにし未来ビジョン 後期基本計画を策定	2
政策提言ーコロナ禍のまちづくり	4
8人が町政をただす	9
がんばる川西…なかよしキッチン	23

12月定例会のあらまし

12月定例会が12月7日から18日の12日間の日程で開催された。

第1日目に、財産の取得3件を全会一致で可決し、条例2件、かわにし未来ビジョン(第5次川西町総合計画)後期基本計画の策定1件、町有地の無償貸付け1件、指定管理者の指定4件、令和2年度補正予算5件、法定道路の除雪路線見直しの請願1件を常任委員会、予算特別委員会に付託した。

第2、3日目に一般質問を行い、8議員が新型コロナウイルス感染症対策や、第5次総合計画後期基本計画などを取り上げ、町政をただした。

第4日目に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、付託した議案を審査した。

最終日に、予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した13議案と、追加された2年度一般会計補正予算(第9号)を可決。また安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書提出を可決し、請願を採択して閉会した。傍聴者は14人。

かわにし未来ビジョン

『後期基本計画』を策定

かわにし未来ビジョン(第5次川西町総合計画)後期基本計画の位置付けは、平成27年12月議決の未来ビジョンにおいて、後期計画については、社会的情勢の変化に的確に対応していくため、改めて策定するとしていることから、令和3年度を初年度とする後期基本計画を策定する。

人口減少を克服し、活力ある持続可能なまちづくりを目指していくことは、「未来ビジョン」「第2期まちひと・しごと創生総合戦略」に共通する目的であり、効果的かつ効率的な進捗を図るため、後期基本計画と第2期総合戦略を一体的に策定することにした。

また、本町の人口減少と高齢化が、さらに進むことが予測される中、男女共同による地域社会の構築をより一層推進し、地域社会の担い手確保、あらゆる分野での女性の活躍等に繋げていく必要がある。

誰一人取り残さない持続可能な社会の実現は、SDGsの17項目の理念や考え方を意識した取り組みとする。(関連記事は8ページ)



完成が近づいてきた新庁舎 11月13日撮影(関連P20委員会レポート)

**令和2年度各会計補正予算**

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第8号)	147億7718万円 (8407万円を追加補正)	全員賛成により可決
一般会計(第9号)	147億9518万円 (1800万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第3号)	6億1188万円 (2万円を減額補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第3号)	19億6582万円 (6307万円を追加補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第2号)	1億8015万円 (87万円を追加補正)	全員賛成により可決

**水道事業会計(第2号)**

企業会計	歳入歳出予算	議決の状況
収益的支出	4億5863万円(5万円を減額)	全員賛成により可決

**一般会計補正予算(第8・9号)の主な内容**

<b>(歳出)第8号</b>	
教育・保育施設給付 負担金	5411万円
一般廃棄物収集運搬 負担金	2363万円
機構集積協力金 補助金	1400万円
放課後児童クラブ運営 委託料	955万円
老人福祉施設 二市二町養護老人ホーム負担金	▲7842万円
<b>(歳出)第9号</b>	
新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業交付金	1800万円
<b>(歳入)第8号</b>	
子どものための教育・保育給付費国庫負担金	3004万円
子どものための教育・保育給付費県負担金	2583万円
農地集積集約化対策事業費県補助金	1400万円
福祉施設整備事業債	▲7440万円
<b>(歳入)第9号</b>	
財政調整基金繰入金	1800万円

補正予算

一般会計補正予算(第9号)は、新型コロナウイルス感染症の急増により、自粛ムードの広がりから、これまでになく厳しい経営状況にある飲食店等に対して、年末年始を乗り越えて事業継続ができるよう、感染防止対策に取り組み飲食店等に対し、交付金を交付する。

対象者は、町内に事業所を有し、主たる業種が飲食店、宿泊業、タクシー事業者(福祉輸送事業限定を除く)又は運転代行業で、「新型コロナウイルス対策宣言店」のプレートを受けて今後も事業を継続する者としている。

交付額は30万円、申請受付は町商工会で12月21日から令和3年1月29日となる。

主な質疑

- 問** マイナンバーの普及は。
 

**答** 交付件数は、令和2年11月30日現在2615枚、交付率は17.4%であり、令和2年度上半期における伸び率は県内トップである。
- 問** 選挙管理事務局事務経費の補正内容は。
 

**答** コロナウイルス感染症防止対策のため、設置する顔認証型AIサーマルカメラの購入経費である。選挙時のみならず、適宜、当該機器を有効活用すること。
- 問** 債務負担行為補正の内容は。
 

**答** 各地区交流センターの経営母体に対する5年間の指定管理経費。
- 問** 経営母体の職員体制や給与について、処遇改善に努めること。
 

**答** 経営母体の職員体制や給与について、処遇改善に努めること。
- 問** 老人福祉施設事業の減額理由は。
 

**答** 南陽やすらぎ荘建設工事の入札が不調となるなど着工が遅れたことから、本年度中の出来高が減少するため。
- 問** 機構集積協力金事業の増額は。
 

**答** 農地中間管理事業における地域集積協力金を増額する人・農地プランの進捗状況の情報を提供すること。
- 問** 幼稚園施設整備事業の内容は。
 

**答** 北斗幼稚園屋根改修工事の追加工事が必要となった。日頃から、施設の状態把握に努め、適正な維持管理を図ること。

# コロナ感染症下での まちづくり

## 令和2年度提言への回答

10月27日、8回目となる令和2年度の政策提言書が鈴木副議長から原田町長に手交された。

本議会は、平成25年5月に施行した「議会基本条例」に、2つの大きな柱「町民参加の拡大」「政策提言」を掲げ、その具現化に努めている。

8月に町民との意見交換会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、意見交換会の代替等協議を重ねた。

各常任委員会において提言案を取りまとめることとなり、日頃町民の皆さんからの意見等について議論を交わしながら提言を取りまとめた。

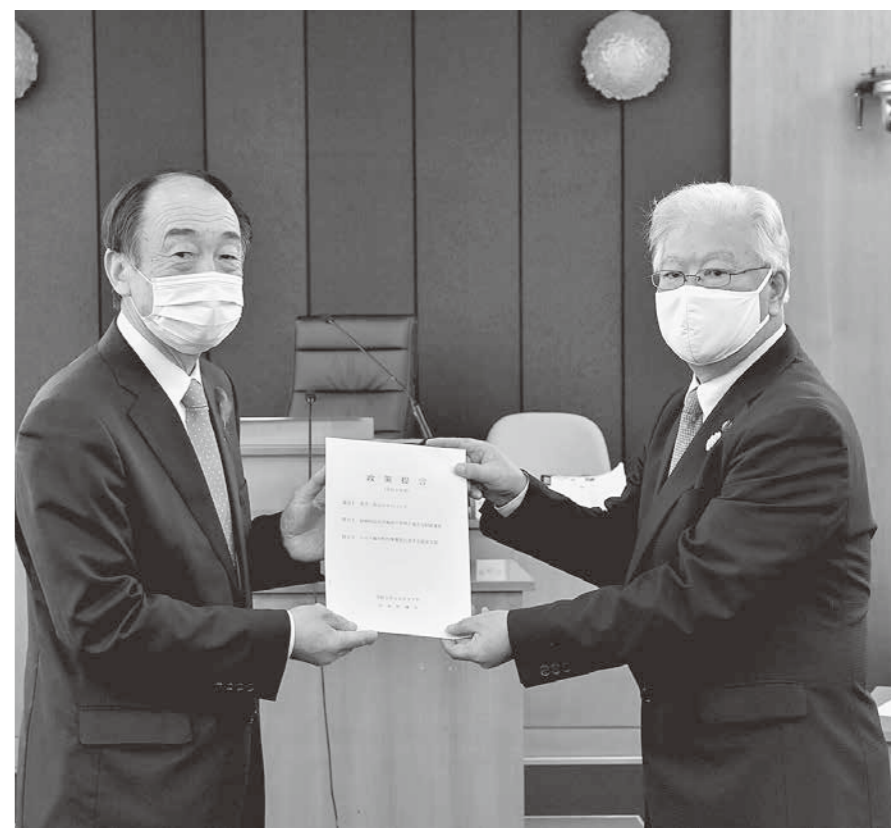
**一つ目「安全・安心なまちづくり」** 近年自然災害発生が頻発していることから、防災・減災対策を示すこと。

**二つ目「計画的な公共施設の管理と適正な財政運営」** 新庁舎整備や現庁舎跡地利活用における、適正な財政運営を行うこと。

**三つ目「コロナ禍の町内事業者に対する経営支援」** 新型コロナウイルス感染症で、本町の各種イベントや集会の自粛で大きな影響が全ての産業にわたっていることから事業者に対する、経営支援を行うこと。  
以上の3提言について、原田町長から11月30日に加藤議長に回答が手交された。



町民を守る対策を



提言を生かしたまちづくりに



町からの回答を受け取る

### 1 提言

## 安全・安心な まちづくり

1 自然災害における防災・減災対策を示すこと

**回答** 国、県と連携し国土強靱化施策を取り入れる

近年は台風、大雨、地震等で甚大な被害が発生しており、今後も自然災害が発生するおそれがあることから、防災体制の充実を重要課題と位置づけ、現在整備中の新庁舎を防災拠点施設とし、住民への的確な情報提供や防災意識醸成に向け、災害や危機管理意識に対処する組織強化を図っていく。  
また、各地区自主防

災組織と連携し情報の共有化を進めながら組織活動を支援するとともに、防災士等のリーダー養成を図るなど、防災体制を整備していく。  
減災対策については、それぞれに対策を講じる必要があり、国の指導を仰ぎながら情報収集に努め、連携して国土強靱化施策を取り入れていく。

## 2 提言 計画的な公共施設の管理と適正な財政運営

- 1 公共施設等総合管理計画の適正な執行に努めること
- 2 新庁舎整備後の適正な財政運営を行うこと
- 3 庁舎跡地利活用における適正な財源確保を図ること

**回答** 老朽化した施設の在り方検討を行い、施設数削減に向けた具体的な方向性を示す

具体的な施設の維持管理は所管課の施設管理年次計画の進捗、変化等を集約し、社会動向、緊急性等を踏まえながら「川西町公共施設個別施設計画」に基づき実施している。  
今後、老朽化施設の在り方について検討を行い、公共施設数の削減に向けた具体的な方向性を示し、時期や工法を検討し一層効率的な維持管理に努めていく。

**回答** 優先順位を明確化し、併せて事業内容の見直し、業務改善を図り効率的な行政運営を図っていく

財政計画を十分に検討し、今後とも産業振興による税収、ふるさと納税等の確保を図りながら、有利な補助事業や起債の活用など財源確保に努めていく。今後より一層事業

**回答** 「地方創生拠点整備交付金」等の採択に向け取り組みを進めている

具体的機能や施設規模等を定める庁舎跡地利活用計画の策定を進める中、「地方創生拠点整備交付金」の採択に向けて取り組みを進めている他、有利な補助事業や起債などの財源確保に努めていく。

どうしたらどうか!

### 2 提言

どういったらどうか!

# 条例

令和3年1月

## 国民健康保険税 基礎控除額を43万円に引き上げ

基礎控除額一律引き上げ  
33万円から43万円に増額

令和3年1月1日施行の個人所得課税の見直しに伴い、低所得者の国民健康保険税を軽減する場合の所得の判定基準を見直すもの。基準の見直しについて

では、基礎控除額を33万円から43万円に増額し、改めた基礎控除額に給与所得者が2人以上いる世帯については、給与所得者等の数に応じて10万円を乗じて得た額を加えた額を軽減判定所得とするもの。改正軽減判定所得

(1) 7割軽減基準額Ⅱ基礎控除額(43万円) + 10万円 × (給与所得者の数 - 1)

(2) 5割軽減基準額Ⅱ基礎控除額(43万円) + 10万円 × (給与所得者の数 - 1) + 28.5万円 × (被保険者数)

(3) 2割軽減基準額Ⅱ基礎控除額(43万円) + 10万円 × (給与所得者の数 - 1) + 52万円 × (被保険者数)



課税免除対象施設 = JA全農山形園芸ステーション

**全員賛成により可決**  
地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、条文中法律から引用している規定について、条ずれ対応を行うもの。3年間課税免除公布の日から施行。2年10月1日から適用。**全員賛成により可決**

**固定資産税課税免除**  
地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、条文中法律から引用している規定について、条ずれ対応を行うもの。3年間課税免除公布の日から施行。2年10月1日から適用。**全員賛成により可決**

## 3 提言 コロナ禍の町内事業者に対する経営支援



コロナ禍に対する経営支援が求められる

1 農工商業の事業が持続できるように、効果的な経済対策を行うこと

**回答**  
国に対し実態に即した措置を講じるよう要請を行っていく

コロナ感染症対策で、外出をはじめ各種会議やイベントなどの開催自粛が相次ぎ、飲食業界やタクシー事業者、畜産や花き生産農家等への影響は甚大なものとなっている。

現在、国の交付金等を活用しながら各種経済対策を講じているが、事業者等の経営状況は、

いまだに厳しいと認識している。

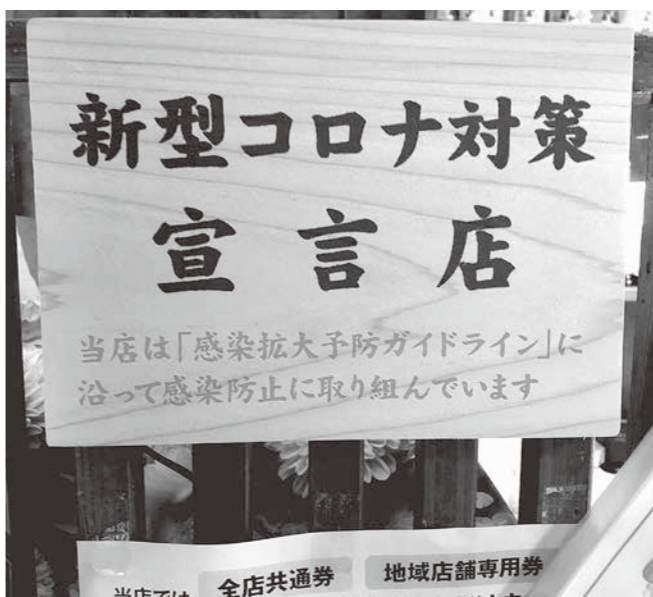
今後も新型コロナウイルスを注視しながら、消費喚起や事業継続への支援など必要な対策を実行するとともに、国に対し実態に即した措置を講じるよう要請を行っていく。

2 深刻な打撃を受けている小規模事業者等へのきめ細かな支援を行うこと

**回答**  
事業者の経営状況やニーズの把握に努め、事業継続が可能となる効果的支援を継続し実施していく

中小企業・小規模事業者等の業況に多大な影響が生じている。このため、業況が悪化している事業者には、事業の継続と再起の糧となる支援を講じてきた。

今後も商工団体や農業者等との連携を図りながら、事業者の経営状況やニーズの把握に努め、事業継続が可能となる効果的な支援を継続実施していく。



安全安心を宣言する事業店舗

## 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題である。

左記に掲げる事項について要望する。

1 今後も発生が予想される新たな感染症対策などの事態にも対応できるように、医療・介護・福祉に十分な財源確保を行うこと。

2 地域の実情を踏まえた医療体制の充実を図ること。

3 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。

4 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充及びウイルス研究、検査・検疫体制等の強化・拡充を図ること。

5 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

提出先  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
財務大臣  
総務大臣

## 意見書

賛成多数により可決  
(反対2)

# 8人の議員が一般質問

定例会第2日目と3日目に一般質問が行われ、8人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

<b>P10</b>	<b>神村 建二 議員</b>	<b>教育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小中学校の少人数学級へ移行する考えは</li> <li>② 川西町の指定文化財に登録するべきでは</li> <li>③ 健康寿命の取り組みの評価分析はどうか</li> </ul>
<b>P11</b>	<b>寒河江 司 議員</b>	<b>マルシェ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 森のマルシェの指定管理料や補助金の在り方は</li> <li>② やまがた里の暮らし推進機構の活動が見えないのはなぜか</li> </ul>
<b>P12</b>	<b>伊藤 寿郎 議員</b>	<b>いじめ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① いじめ防止対策をどう図るか</li> <li>② 児童虐待の対応をどうする</li> <li>③ 高齢者に対する支援充実の考え方は</li> </ul>
<b>P13</b>	<b>橋本 欣一 議員</b>	<b>コロナ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新型コロナウイルス感染症に対する町の支援策は</li> <li>② 学校の少人数学級への考えは</li> </ul>
<b>P14</b>	<b>遠藤 明子 議員</b>	<b>観光</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 魅力ある観光産業づくりを</li> <li>② 地域コミュニティと地域づくりは</li> </ul>
<b>P15</b>	<b>吉村 徹 議員</b>	<b>鳥獣害</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 鳥獣被害の対策をどうするか</li> <li>② 地球温暖化による気候変動は</li> </ul>
<b>P16</b>	<b>島貫 偕 議員</b>	<b>選挙</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 町議会選挙・町長選挙を平日投票日に</li> <li>② スクールバスの民間委託は</li> </ul>
<b>P17</b>	<b>高橋 輝行 議員</b>	<b>町人口</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 第5次川西町総合計画後期基本計画の考え方は</li> </ul>

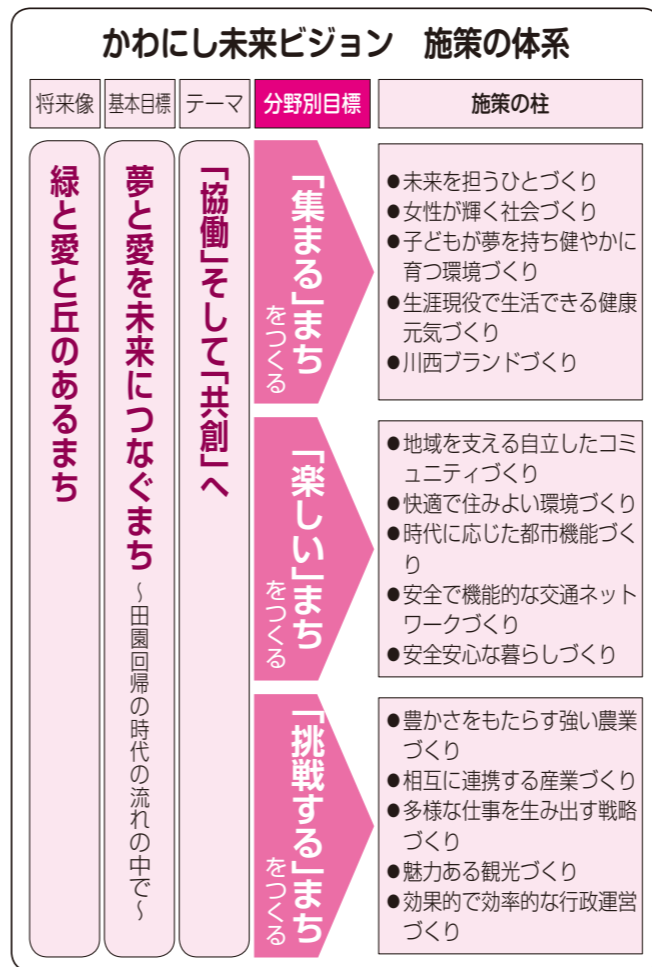
①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかった。その内容は、議会ホームページの録画中継によって見ることができる。(http://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

**一般質問とは**  
 一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。  
 また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。



# 「かわにし未来ビジョン」後期基本計画を可決

**「かわにし未来ビジョン」策定の経緯**  
 町第5次総合計画となる「かわにし未来ビジョン」後期基本計画が議会に提案され、審議された。  
 総合計画は、地方自治法で基本構想の策定義務と、議会議決が規定されていたが、地方分権により策定は自治体に委ねられた。町では、「まちづくり基本条例」により総合計画を策定することとし、議会では「議会基本条例」で基本構想、基本計画の議決を規定している。  
 本町は、昭和30年に「新町5カ年計画」を策定して以来、平成18年度からは「第4次総合計画」により、「人かがやきダリヤと文化が咲き誇るまち」を指してまちづくりを進めてきた。第5次総合



計画策定は前期計画の検証、町民の意識調査、まちづくり委員会による計画の審議、まちづくり懇談会との意見交換、総合計画アドバイザーによる指導、助言等を経て28年度を初年度とする10カ年の総合計画「かわにし未来ビジョン」が策定された。

「後期基本計画の位置付け」  
 平成27年12月15日議決の「かわにし未来ビジョン」においては、基本計画を前期5年の策定とし、「後期基本計画については、社会情勢の変化に的確に対応していくため、改めて改定する」として3年度を初年度とする後期基本計画を策定するもの。

「議会の意見を反映」  
 さらに議決機関である議会では、政策提言や総務文教常任委員会審議、議員全員協議会において多くの意見が出され、これらが未来ビジョンに反映されている。  
 委員会審査では「P D C Aサイクルによる評価検証、SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取り組みを推進すること」との意見が付された。  
**賛成多数により可決（反対3）**

## 12月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	島貫 偕	伊藤 寿郎	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	定 秀夫	高橋 輝行	鈴木 幸廣
議第87号 かわにし未来ビジョン(第5次川西町総合計画)後期基本計画の策定	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
発議第9号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	

町提出案件13件、議員発議2件。○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

## 一般質問

### 教育

教育長 ― 教員の加配や学習支援員を配置している

小・中学校の少人数学級に対する考え方は



神村建二 議員

**神村** 現在蔓延しているコロナ感染症は教育界にもその影響を及ぼしている。休校行事の縮小、夏休みの縮減などが強いられてきた。それらを懸念する「県民の会」では、行事や特別活動を削って授業ばかりを詰め込むことは子どもたちに悪影響を及ぼす。本当に学力保障を行うには少人数学級を進めるべきだ、と注意を促している。

**教育** 町の小・中学校の少人数学級に対する考え方はどうか。

**教育** 小松小学校の生徒数は、小学一年生は19人が2学級、二年生35人、三年生34人がそれぞれ一学級である。その他、小松小5年生及び中学校の全年生が30人以上であるが、教員の加配や学習支援員を配置している。

**神村** コロナの影響に対する教育環境の対応は。3月から6月に実施し、その後分散发散や新しい生活様式への対応をとり、授業再開を進めた。また、消毒液やマスクなどの物品の支給、放課後児童クラブへの運営支援などを行ってきた。今後とも、児童生徒の安全と環境整備に努めていく。

**神村** 町内にある未指定の文化財について、虫送り、神送り、あるいは商宮律などは本町にとって貴重な財産であり、町指定文化財として永く伝承すべきと考えるが。

**神村** 健康寿命を延ばす取り組みの一つとして「健康かわにし健康マイレージ事業」に取り組んでいて、生活習慣病の予防、医療費削減、介護保険給付削減などについて伺う。

**町長** 健康づくりに取り組みながら協力店の優待が受けられる内容で、参加者は当初61人から昨年は168人に増えている。これまで健康に関心なかった人も、健康的な生活習慣を持つようになり、参加しやすい環境を整えていきたい。

※健康マイレージ 日頃の健康的な活動や、町の事業への参加でポイントが付与される特典がある制度



学習支援員が入った授業風景 = 令和元年、小松小

## 森のマルシェ開業5年間の実績は

### 町長 ― 順調な総売上額で推移している

### マルシェ

**寒河江** 森のマルシェの5年間の実績はどうか。

**町長** 売上総額で、毎期5%から10%増と、堅調に推移している。昨年の第5期は8900万円の売上額であった。

**寒河江** 出荷登録者数が181人、出荷品目数が267品目、来店者数が11月末で19万5千人となり、毎期200万円程度の純利益を計上している。

**寒河江** 毎年、指定管理料及び補助金で2000万円以上、町債や一般財源で支払っているが、今後この

**町長** 森のマルシェは、地方自治法第244条に基づく「公の施設」として設置されており、平成15年の法改正により指定管理者制度が創設され、指定管理者の指定手続き等に関する条例に基づき、手続きがなされている。現在「(株)かわにし森のマルシェ」に管理運営を担っていただいている。

**町長** 森のマルシェは、地方自治法第244条に基づき「公の施設」として設置されており、平成15年の法改正により指定管理者制度が創設され、指定管理者の指定手続き等に関する条例に基づき、手続きがなされている。現在「(株)かわにし森のマルシェ」に管理運営を担っていただいている。

**寒河江** 指定管理料及び補助金で2000万円以上、町債や一般財源で支払っているが、今後この

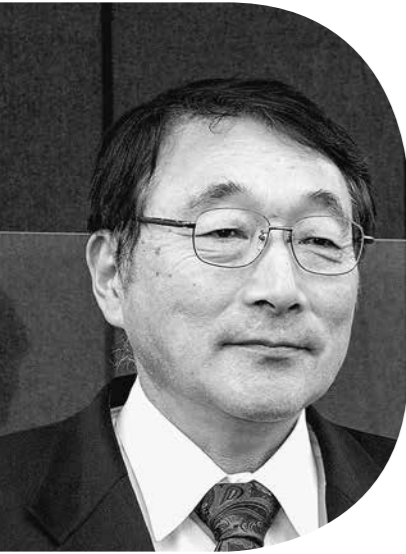
**町長** 森のマルシェは、地方自治法第244条に基づき「公の施設」として設置されており、平成15年の法改正により指定管理者制度が創設され、指定管理者の指定手続き等に関する条例に基づき、手続きがなされている。現在「(株)かわにし森のマルシェ」に管理運営を担っていただいている。

**町長** これらは各地域に残る生活文化や祭事が継承されているものであり、守り伝えるものとして、

**町長** これらは各地域に残る生活文化や祭事が継承されているものであり、守り伝えるものとして、

**町長** これらは各地域に残る生活文化や祭事が継承されているものであり、守り伝えるものとして、

**町長** これらは各地域に残る生活文化や祭事が継承されているものであり、守り伝えるものとして、



寒河江司 議員



自主自立の運営に向けて = かわにし森のマルシェ

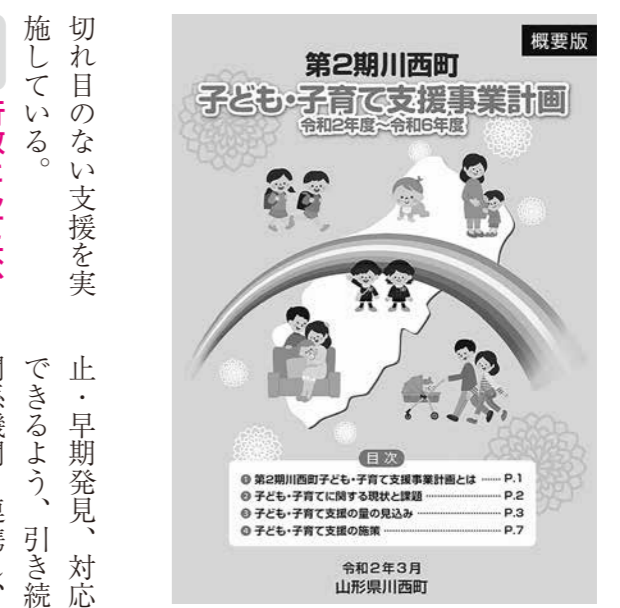
## 一般質問

### いじめ

### 町長 一 家庭や地域一体となって取り組む いじめ・児童虐待防止対策を強化せよ



伊藤 寿郎 議員



妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を

切れ目のない支援を実施している。

**伊藤** 行政としては、地道に通信体制、相談体制、保護体制を整えなければならない。児童虐待を防ぐ地域づくりをどう考えるか。

**町長** 児童虐待防止月間となっている11月に、児童虐待に関する記事を町報に掲載し、家庭・地域に周知を図った。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

**伊藤** コロナ感染症による国内の死亡者は80代以上に集中し、認知症の人はコロナに対して高リスクである。両方に対応できる医療体制は。

**町長** 県では精神科病院と検討の段階であり、体制の整備に向け調整中と聞く。

### コロナ感染が広がる中追加支援策が必要では

### 町長 一 国県の動向を注視する

### コロナ対策

**橋本** コロナ感染が第3波を迎えている。あらゆる分野で影響が出てきている。町内の状況をどう把握しているか。

**町長** 商工会との情報共有を行っている。製造業では売り上げが前年比の40%〜50%以上の減少。

**橋本** 飲食業では売り上げ減少が50%以上の事業所が多い。10人以上の宴会や法事などの予約がほとんどない。

**町長** 小売店では売り上げ減少が昨年比の20%〜30%で推移している事業所が多い反面、大型小売店では前年対比1

**橋本** 0.4%となっている。国県との協調や、町独自の22項目の支援策を行っている。プレミアム商品券やGTO事業は限られた人にしか恩恵がない。

**町長** 長井市のように、全住民に商品券を配り、消費喚起をすべきと思うがどうか。

**橋本** 年を越せないと悲鳴を上げている業者もあると聞く。潰れてからは再生は難しく、町を支える企業の損失は地域衰退に拍車がかかる。スピードで効果的な支援策を望む。

**町長** 大型小売店の他は極めて厳しい状況であり、国の支援

**橋本** や特別支援学級の指導員等が相談に応じている。

**伊藤** 「地域の子どもは地域で守る」のが最重要と考えるが、児童虐待防止、予防体制をどう進めるか。

**町長** 平成30年度より子育て支援センター機能を整え、妊娠中（生まれる前）から子育て期まで、関係機関と連携し、相談・支援を適切に行うなど、

**伊藤** とともに町独自の支援も行っている。状況に応じた対応を図っている。

**橋本** コロナ感染症が庁舎内で発生、クラスター化した場合の行政の事業継続計画（PCB）・復旧計画・緊急時対応計画（BCRP）はあるのか。また、迅速な対応のための職員間での周知と共有は。

**町長** 4月に感染症対策会議で事業継続計画を協議した。各課の業務優先順位の確認、代替施設の確保、職員交代勤務の実施などで、役場機能や住民サービスの停滞を



橋本 欣一 議員

経済産業省  
新型コロナウイルス感染症拡大により、事業を継続できなくなるなど事業継続に困難な中堅・中小企業、小規模事業者  
フリーランスを含む個人事業者の皆様へ

9月1日以降に新規申請される方へ

【中小法人・個人事業者のための】

## 持続化給付金

じぞくかさゆうふきん

売上が前年同月比50%以上減少している事業者の方は、事業の継続を  
下支えし、事業全般に広く使える給付金を申請できます。  
(今年12月まで売上増が90%以上減少した10月が対象、令和3年11月15日(金)まで申請が可能です。)

持続化給付金とは？

中堅・中小企業 上限 200万円  
小規模事業者 上限 100万円

申請方法

申請は持続化給付金ホームページから。  
<https://jizokuka-kyufu.go.jp/>

持続化給付金相談窓口

0120-279-292 (受付時間) 03-6832-6631

「持続化給付金」を装った詐欺にご注意ください!

コロナ禍におけるさらなる支援を

## 一般質問

### 観光

#### 内山沢(里山)の景観を観光資源に

#### 町長ー環境保全や維持管理が課題



遠藤明子 議員



ふれあいの丘のさらなる活用を = 内山沢堤

**遠藤** 内山沢(里山)の自然豊かな景観を生かし、キャンプ場やアスレチック等で、若者や家族連れが楽しめる場所に整備してほしいか。

町民有志の方々にも、環境整備活動に協力をお願いしている。環境保全活動では、町民有志の方々にも、環境整備活動に協力をお願いしている。

**町長** 観光業を生業とする民間事業者がなく、会員は商店等の個人事業者で、会員も年々減少している。自主財源の確保が困難。人材育成と関係団体とのネットワーク強化が課題である。今後は、これまでの検証と課題を踏まえ、観光計画の見直しや推進体制の在り方を検討していく。

**遠藤** メディカルタウン整備事業によって、将来の人口増や発展が期待される。住み心地の良い環境となるよう、定住者への、きめ細やかなサポートをしてほしい。新たな地域コミュニティの形成と、大塚地区の地域づくりに対する整合性をどう図っていくのか。

**町長** メディカルタウンを形成する住宅機能の整備事業では、若者・子育て世代、医療関係者及び首都圏からの移住者等の誘導を行い、定住者の増加を目指す。また、「メディカルタウン整備に係る調整会議」を設置し、住みよいコミュニティの形成に努めている。

**町長** 基本となるのは自治会と考える。また、自治会未組織地域への働きかけや、持続可能な組織となるよう、協議の機会をつくっていく。

**町長** 高戸屋山を頂とする内山沢は、自然豊かな里山で、自転車愛好団体によるマウンテンバイクコースとして、また冬季には観光協会によるスノーシューハイイクに活用されている。

**遠藤** 賑わい創出に向けた観光人口の拡大、利益を生み出す観光産業と仕掛けづくりを研究していく。

**町長** 観光業を生業とする民間事業者がなく、会員は商店等の個人事業者で、会員も年々減少している。自主財源の確保が困難。人材育成と関係団体とのネットワーク強化が課題である。今後は、これまでの検証と課題を踏まえ、観光計画の見直しや推進体制の在り方を検討していく。

**遠藤** 近年の自然災害の頻発や激甚化をどう防ぐのか。

**町長** 関係団体がそれぞれの分野でできることを確認し、地域全体で取り組んでいくことが重要と考えている。

**その他** 「気候非常事態宣言」についてどう考えるか。また、温暖化対策について質問した。

**吉村** 鳥獣による被害が昨年より増加していることだが、どの程度か。

**町長** 特にクマによる被害は深刻であり、町内の女性が襲われる被害や車と接触する被害のほか、農作物では収穫期を迎えたブドウをはじめ、カキ、クルミ、ソバなどの被害が多数確認されている。イノシシについては、水稲収穫前の水田内を走り回り水稲を倒伏させる被害が拡大している。

**町長** 関係課による協議を行い、緊急処置として「クマ出没注意報」を発令し、併せて、地区交流センターでは地域住民への注意喚起、米沢警察署ではパトロール活動を展開して頂いたところである。

**吉村** 近年の異常気象について問う。

**町長** 本町でも、猛暑と水不足による渇水、昨年の台風19号による大雨被害、極端な小雪など、地球温暖化が及ぼす影響をできる限り少なくするため、対策と対応を早急に取り組まなければならないと考えている。

**町長** 11月末時点では、クマが24頭、サ

**吉村** 国、県から鳥獣対策に対する情報

**町長** 県の事業である「イノシシ被害防除研修会」を本町で開催し、猟友会と対応策を学びながら捕獲対策を進めると共に、町民、地域、集落、行政

## 今年の鳥獣被害の状況と対応策は

### 町長ークマ出没注意報の発令で注意喚起

#### 鳥獣被害



吉村 徹 議員



今までにない出没頭数だった



## 一般質問

### 選挙



島貫 偕 議員

**町長・町議選投票日を平日に変更しては**  
**選挙管理委員長 — 引き続き日曜日が投票日となる**

**島貫** 選挙は、町民の意思決定の面において大切なものであるが、経費軽減のために平日の投票を行うてはどうか。

での平日投票はできない。町長選については、臨時特例法によらず任期が終わる日の30日以内の中で、町選挙管理委員会で選挙日を決定している。

**議員** 本町の町議会議員については、統一地方選挙の施行年（うさぎ年、ひつじ年のしし年）に任期満了を迎えることから、臨時特例法に定められた月日に施行することとなる。従って、独自

**島貫** 近隣の町長選挙では、早くから平日投票が行われていて、期日前投票制度と併せ、有効に活用されている。期日前投票率も30%あると聞く。

**議員** 本町の町議会議員については、統一地方選挙の施行年（うさぎ年、ひつじ年のしし年）に任期満了を迎えること

**島貫** さらには、投票時間も朝7時から夜8時を朝7時から夜7時までの1時間短縮も検討してはどうか。また、夜7時から8時の時間帯に投票に来られる人が少ない状況をどう考えるか。

**議員** 平日投票で試算すると、約35万円の時間外手当が削減される見込みとなる。一方、平日投票日の課題として、①投票所の

確保、②投票管理者及び投票立会人の人選が困難になる。③役場内の業務遂行や住民サービスに影響が生じてしまふ等のことが考えられる。

**島貫** 令和3年4月から民間委託で運用することについて、これまでの流れを問う。

**議員** 現在の運転手の雇用については、事業者任せられるが、前向きに検討をしたいとの考えを聞いているので、運転手の方々を紹介していきたい。



住民の意思を反映する選挙投票

## 町人口

### 人口分析の見通しが甘い

町長 — 目標値が厳しいことは認識している

**高橋** 今議会に提案された、第5次後期基本計画の人口分析について、いろいろな国の数値が示されているが、見通しが甘いのではないか。つまりは、信頼性・信憑性に欠ける目標値ではないか。

**町長** 新たな指標の設定や目標値については、担当各課の意見等を集約した上で、「総合計画策定連絡協議会」において検討し改定した。

**高橋** 目指すべき将来の方向性に示されている2040年（令和22年）の定住人口目標1万2000人、は厳しいのではないかと、今回新たに、交流・関係人口のさらなる拡大を目指すとの観点から、人口減少は避けられることができないか。

**町長** 国から提示された人口推計では、現在も危機的な状況が続いているとの見解が示されている。本町の将来人口推計についても、再度検証を行った。この総合戦略の目標値は、現実的にはかなり厳しいものであることは認識している。

**高橋** 目指すべき将来の方向性について、今回新たに、交流・関係人口のさらなる拡大を目指すとの観点から、人口減少は避けられることができないか。

**町長** まちづくり委員会では、まちづくり委員会で施策評価および主要プロジェクトの評価等をいただいた上で、地域づくり連絡協議会における、各地区

重要であると考えている。この「交流人口」から「関係人口」、さらには本町への「移住・定住人口」へと発展させていくことが必要であり、ふるさと納税をきっかけに本町に関心を持ってもらう取り組みを図っていく。

**高橋** 策定するにあたり、町民の意見をどのように反映しているか。

**町長** 交流センター長等との意見交換会をはじめ、町づくり町民アンケートを実施し、広く町民の意見を聞く機会を設ける等、意見集約に努め、反映させた。



高橋輝行 議員

**高橋** 丁寧な説明が必要ではないか。コロナ禍の中だが、可能な限り努力していく。

**町長** 高橋 今から、第6次総合計画基本構想がどうあるべきか議論を深めておくべきである。今後の目指すべき将来の展望を町民と認識を共有することが大切と考える。職員69人（34・5%）が町外在住者であることも指摘しておきたい。

交通事故発生状況		11月30日 現在
発生件数		35件
傷者数		45名
死亡者数		0名
死亡事故0日数		1199日
飲酒運転検挙件数		件
11月現在の人口と世帯数		
人口	男女計	7234名
	男女計	7503名
	男女計	14737名
世帯数		5050世帯
		川西町

減少が続く川西町の人口

# 臨時会

## スクールバスの更新 豪雨災害復旧 1億1400万円

# 全員協議会

## 新庁舎開庁 令和3年5月6日

### 第4回臨時会

10月27日臨時会が開催された。2議案が上程され、審議された。

#### ○財産の取得について

令和2年10月15日川西町契約に関する規則の規定に基づき、指名競争入札に付した川西町立川西中学校スクールバスの取得について、契約金額1601万円が株式会社富樫モータースと契約締結するもの。

#### 全員賛成により可決

### ○令和2年度川西町一般会計補正予算(第7号)

農業施設災害復旧事業工事費2000万円。

### 第5回臨時会

11月30日臨時会が開催された。

#### 一般職・特別職の給与を改定

国家公務員等の給与改定に準じ、一般職の職員給与を改定するもの。

#### 全員賛成により可決

#### 特別職職員の報酬改定

国家公務員等の給与改定に準じ、町長、副町長および教育長ならびに議会の議員に係る期末手当の支給割合を0・05月減額し、3・35月に改定する。

#### 全員賛成により可決

安全確保や高齢者世帯、障害者世帯は大変苦労されている。

# 請願

### 《請願名》 法定道路(法定吉島66号線)の除雪路線見直しについての請願

#### 《請願者》 東方自治会 代表 佐田 光雄

#### 《紹介議員》 伊藤 寿郎

#### 《所管》 産業厚生常任委員会

#### 《主な内容》 当地区の法定吉島66号線は冬期間の除雪が行われないため、町道大野線(県道高島川西線から集落まで)から南へ進入した際袋小路になる。取り付け道路周辺で災害が発生した場合や、救急時の対応にも支障を来す恐れがある。また、通学路の

安全確保や高齢者世帯、障害者世帯は大変苦労されている。要望当初よりは通学の児童・生徒も減ったが、高齢者の生活の安全を考えると現在、除雪アダプト事業の活用だけでは済まない事態となっている。

#### 《審査の経過と結果》 願意妥当で採択

#### 《本会議》 全員賛成により可決

# 町有地

## フラワー長井線 鉄道用地 再契約

平成28年沿線自治体が鉄道用地を保有し、運営を山形鉄道が行う上下分離方式を導入し、運営されてきたフラワー長井線が、令和3年3月31日で5年間の期限となることから、スムーズな運行がなされるよう、5年間の用地の無償貸し付けを再契約する。

施設は県と沿線自治体が年総額8400万円

#### 《本会議》 全員賛成により可決

令和8年3月31日

### 全員協議会 11月24日

#### 1、給与改定について

人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じ、一般職員の給与および特別職に係る期末手当の支給割合を0・05月減額し、3・35月に改定する。



安全で快適な通学を

### 全員協議会 12月16日

#### 1、組織体制の見直しについて

既存の13課1局30グループ(監査委員、選挙管理委員会、農業委員会事務局除く)の数は変わらないが、新たな課・グループの設置および廃止を行うとの報告を受けた。

#### 2、川西町役場跡地利活用計画の策定状況について報告を受けた。

令和3年5月6日(木)とする報告があった。

#### 3、川西町新庁舎の開庁について

令和3年5月6日(木)とする報告があった。

#### 4、置賜広域行政事務組合議会定例会の概要報告があった。

令和3年5月6日(木)とする報告があった。

#### 5、置賜広域病院企業団議会定例会の概要報告があった。

令和3年5月6日(木)とする報告があった。

# 法定吉島66号線を除雪路線として見直し、集落の冬季、袋小路化を防ぎ安全安心な生活を



法定吉島66号線 = 吉田地区



フラワー長井線西大塚駅  
国登録有形文化財(建築物)でもある



表紙の写真

### 豊穣のうし年

元年10月若手県電石町で行われた、「東日本デイリースhower」チャンピオンの置賜農業高校乳用牛、TLMカリスマブラックレキシコン号。農業高校初で、体型審査も90点は全国でも数少ない。取材時は妊娠中で、出産真近であった。(12月31日に無事産まれた。5産目)

3年生の江袋莉音さん、鈴木笹子さんの優しいブラッシングに、気持ちよさそうにしていました。

今年(辛丑)新しい芽が出て豊穣になる年。子牛も生まれ、希望の年となりそうです。

\*1 乳用牛の改良を志す者の共進会  
\*2 干支で「かのとうし」  
辛いことが多いだけ、大きな希望が芽生える年と言われている

**総務文教常任委員会  
新庁舎の町民見学会  
を開催予定**

11月10日、新庁舎とメデイカルタウン、町の防災計画についての事務調査を行った。新庁舎の全容が見えてきたことに伴い、内部の状況等視察を行った。

当日は内部の空調などの配管、電気設備の配線、内部床設置等が行われていた。10月末の進捗率は75・86%。11月14日に町民対象の見学会を開催するとの報告を受けた。  
**令和4年に分壊開始**  
メデイカルタウンに

については、農業振興地域の除外手続きを開始。住宅区域北側の宅地分壊を令和4年から行いたいと説明があった。

**同じ個所の被害発生は、抜本的に整備すべき**

近年自然災害発生が多発、夜間作業等危険が伴う状況が発生していることから、町の防災計画等について調査を行った。

災害対応の現場の判断基準等、現場を本部がどのようにどこまで把握しているか。夜間の行動対応は危険を伴わない対応ができるのか等。



配管配線状況の説明を受ける

災害発生が同じ個所

で類発するならば、抜本的に整備すべきではないかとの意見が出された。

**産業厚生常任委員会  
内山沢林道ほか被災地を調査**

11月12日、7月豪雨の被災地の現地調査を行った。

内山沢林道では、林道起点より1700m地点において豪雨により林道法面が崩落し、法面を保護していた擁壁ブロックが19・5mにわたり転倒し、側溝が埋没していた。

また、玉庭地区町道の沢線の道路の災害は、豪雨により水衝部の河床洗堀と法面上部からの浸水が重なり道路法面が崩壊したものであった。さらに、ダリア栽培被災の現況を記録された写真により調査を行った。いずれも、今後被災現場の一

日も早い復旧ができるように努めていきたい。



法面崩落の復旧を

**広聴広報常任委員会  
第37回町村議会  
広報研修会へ**

11月6日、山形国際交流プラザ2F大会議室にて行われた研修会へ参加。議会に対する住民の理解と関心を深める努力が重要である。



より良い広報誌を目指して

**訃報**

ご冥福をお祈りいたします

加藤 俊一 議長



加藤俊一議長が、12月13日に逝去されました。

加藤議長は、平成7年4月に初当選され、以来7期連続して当選なされ、今日まで25年8カ月の長きにわたり本町議会議員として町政発展に貢献されました。議会各委員会の委員長をはじめ、議選監査委員、副議長などの要職を歴任され、平成27年5月および令和元年5月と2期連続で議会議長に就任され、本町議会の議会制民主主義の機能充実に向け手腕を発揮いただきました。

12月定例会最終日の本会議冒頭で黙とうの後、伊藤寿郎議員が追悼の言葉を贈りました。議会として、加藤議長が挺身された議会運営を、引き継ぎ続けて受け継いでいくことが使命であります。

享年71歳  
合掌

**指定  
管理**

**指定管理者の指定**

**全施設が継続**

公の施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定の期間
川西町小松地区交流センター	小松地区地域振興協議会	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
川西町大塚地区交流センター 川西農業センター	大塚地区社会を明るくする協議会	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
川西町犬川地区交流センター	いぬかわ振興協議会	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
川西町中郡地区交流センター 中郡農業研修センター 中郡農村公園	中郡地区社会教育振興会	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
川西町玉庭地区交流センター 川西町克雪管理センター 玉庭農村公園	玉庭地区交流センター 四方山館	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
川西町東沢地区交流センター 川西町東沢活性化センター 東沢登山公園 東沢舟山公園	東沢地区協働のまちづくり推進会議	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
川西町吉島地区交流センター 川西町多目的研修センター 吉島農村公園	特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
川西町浴浴センター 川西ダリヤパークゴルフ場 川西町宮小松スキー場ロッジ	株式会社ダリヤパーク サービス	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで
川西町フレンドリープラザ 川西町立図書館 遅筆堂文庫	特定非営利活動法人 遅筆堂文庫プロジェクト	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
川西町総合運動公園 川西町町民総合体育館 川西町総合運動公園クラブハウス 川西町総合運動公園ホッケー競技場（天然芝・人口芝） 川西町総合運動公園多目的運動場	一般社団法人 川西町スポーツ協会	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

**自分の町を知ろう**  
神奈川県から川西町に移住して20年、傘寿になります。住めば都になったかなあ、と思うところ。心温かい友達にも恵まれ、サークル活動の手伝いなどで、楽しく過ごしています。

**広報モニターから  
ひとこと ⑥**

小松 淀野 茂子 さん



そうかと思った時、何か「目標を持つ」と考えました。それは、川西町をもっと知ろうということでした。町報かわにしや議会だよりをしっかりと読もう、読んでみるうちに、町の状況(町政、議会、町民)が少しずつ分かってきたようで、楽しくなってきました。議会だよりは、全国コンクールで最優秀賞を受賞するなど、素晴らしい広報誌です。町報を読んだり、議会傍聴に行ったり、また、いろいろな人とコミュニケーションを図り、町を知ることによって、自分の心が少しでも豊かさを感じられるのなら嬉しいです。そして、今更ながら、川西町の住民であることを誇りに思います。

これからも老骨にムチ打って、いろいろな経験を心の糧にし、目標達成に近づくよう頑張ろうと思います。

**まちの未来が見える(12月定例会の傍聴者は14人)**  
**議会傍聴においでください**  
どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です。役場3階にお越し下さい)  
**次回定例会は3月です**



今回傍聴の新規採用職員の方皆さん

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。

# なかよしキッチン



は～いクリスマスプレゼント

子どもを育てる親を支えていきたい

今回は、子ども食堂の活動を広げる「なかよしキッチン」代表の佐藤千恵美さんにインタビューしました。

## がんばる川西 紹介 6



# あれから…… どうなった！

## 冬期間の交通

# 安全・安心の除雪対策を図るには

### 質問 2年9月定例会 オペレーターの確保は

平成27年3月定例会の一般質問で町道除雪体制の充実を図るようとの意見が出された。昨年では少雪であり、除雪機械の出動がなかったが、昨今の気象変動もあり、いつ大雪に



除雪作業体制は万全に

なるか分からない。令和2年9月定例会においても、除雪オペレーター担い手確保の質問があった。

### 現状

本町の除雪路線は、路線数が428路線、除雪延長は270・7kmとなっている。今年度は、これまで長年にわたり本町の建設事業及び除雪事業に尽力され支えて頂いた事業者が7月末をもって事業を休止されることになった。本町の除雪延長の約4分の1を担っていた事業者が抜けた影響は大きい。除雪オペレーターの育成及び確保を目的に、

平成25年度より育成支援事業制度を設け、年齢が概ね40歳代までのオペレーターに対し最大10万円を支給しながら、除雪作業の経験を積んで頂いている。

### 意見

25年度は除雪事業者10社、オペレーターとして68人の登録があった。本年度においては、事業者9社、オペレーターは75人となっている。

この育成支援事業で本年まで、18人の方に対して支援を行い、そのうち13人が現在もオペレーターとして活躍している。除雪作業は早朝から始まり、午前7時30分までに終了することとしているが、1日中作

業が連続する場合もあり、高齢のオペレーターには大きな負担をかけているのが現状である。このよう

な現状を踏まえ、本町の冬期間の交通が安全で安心できる除雪体制を構築するため、除雪事業者と協議し、若いオペレーターの育成に努めてもらいたい。

令和2年度 除雪事業	
事業者	9社
オペレーター	75人
町有除雪車	31台

### どのような活動ですか

子どもの居場所づくりがきっかけで、ママ友と協力しながら令和元年9月に立ち上げました。

運営はスタッフ3人、ボランティア10人で、農改センターを会場に月1回の子ども食堂を運営しています。保護者さんと子育ての悩みを共有しながら交流を深めています。

### コロナ禍で活動が大変なのは

今年度はコロナ感染拡大防止のため、食堂の開催は中断してありますが、町内の飲食店と提携してテイクアウトで格安の弁当を提供しています。また、各イベントで

参加制限や対象者を限定し活動しています。

### 今後は

先月、置賜農業高校の生徒さんから活動に協力を頂き、地元食材を子どもたちに知ってもらおう取り組みがあったり、活動が広がっています。

「子どもは家庭だけでなく、地域の方々からの支えを頂きながら成長していく」ということを、保護者の皆さんに伝えていきたいと思っています。

### 議会だよりを 読んでいますか

毎回読んでます。取材してもらい良かったです。ボランティアには役場の職員さん・議員さん・民生委員さんなどから協力を頂き感謝しております。



コロナ禍でお弁当はテイクアウト

メディカルタウンに期待

大塚地区にお住まいの阿部みさきさんに子育てや町に望むことをお聞きしました。

プロフィール

阿部みさき(あべ みさき)

川西町大塚  
家族構成 夫・子ども2人  
趣味 料理

一年半前、長崎から夫の仕事で川西町に引っ越してきました。

遠い長崎から川西へ

長崎には二年前、それ以前は実家のある福島市で会社員として働いていました。

川西町は、福島市から近くよく遊びに訪れていましたが、実際に住んでみると、まだまだ知らないことばかりで、文化の違いに日々驚きを覚えてつつ新たな発見を楽しんでいます。

子育てに奮闘中

子どもたちは双子とすることもあり、入園できる保育園をなかなか見つけることができませんでした。そんな時、町の健康子育て課の方に毎回親身に相談ののって頂きました。

子育てに不安が多い中、さまざまな提案を頂き、とても心強く感じました。

二人の子どもを連れて、日常の買い物や体調を崩した時など、生活をするのがとても難しく感じました。子どもを見ることができない時のため、短時間の預かり保育があれば助かるのにも思いました。核家族化や定年退職の年齢が上がっている中、ますますそういうサービスにより子育てのしやすい町になって欲しいと願っています。

これからの川西町

昨年、「新しい生活様式」で慣れない日々の中、地元で過ごし地元を目標にしていた。二人の子どもを連れて、日常の買い物や体調を崩した時など、人も温かく子どもからご心配の方まで、パワーのあるすばらしい町だと改めて感じる事ができました。ただ、子どもたちの遊び場が少ないことや買い物する場所が一部に集中している不便を感じます。メディカルタウン事業がいよいよ始まると聞き、子どもの遊び場や多くのお店ができることを期待しています。



家族揃って

編集のあとで

▼新年あけましておめでとございます。今年、コロナで疲弊した世の中が、平穏な暮らしに戻ることを祈りたい ▼今号の編集は時間的余裕がなく、議会と並行しながら、額に汗して取り組んできた ▼記事にみなさんの声を多く取り入れられるように、心掛けた。その節には、よろしくお願ひします。(明子)

- 発行責任者 鈴木 幸廣
- 委員長 伊藤 寿郎
- 副委員長 遠藤 明子
- 委員 鈴木 幸廣
- 委員 伊藤 進
- 同 渡部 秀一
- 同 井上 晃一
- アドバイザー(文章) 金子 勤
- 同 佐々木 賢一
- 同 遠藤 勝則
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- 山田 順一